

トヨコ通信

2011年6月号

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2011年 6月 1日 第109号
連絡先 : 大垣市室本町 5-8
日本共産党大垣市後援会
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部内資料

6月議会 6月6日から開かれる

笹田トヨコ議員、建設環境委員会に所属

5月30日、議会運営委員会が開かれ、6月議会の日程及び提出される議案22件が明らかになりました。主な内容を以下に紹介します。

<補正予算>

- ・赤ちゃんステーション整備事業 815万円
- 情報工房、上石津地域事務所、墨俣地域事務所、赤坂東地区センター、上石津図書館、墨俣さくら会館に設置

<条例改正>

- ・大垣市税条例の一部改正について
地方税法が一部改正され、東日本大震災被災者の税負担を軽減するために、市税条例を改正します。

<請負契約>

- ・請負契約の締結について
- (仮称) 大垣市 リサイクルセンター新築工事
…建築主体、土屋組、3億2865万円
- (仮称) 墨俣浄化センター建設工事
…電気設備、明電舎、1億4143万円
- (仮称) 墨俣浄化センター建設工事
…機械設備、三菱化工機、2億297万円
- 東小学校 南舎耐震改修(建築)工事
…宇佐美組、3億7065万円
- 川並小学校 校舎耐震改修(建築)工事
…高岩組、1億9110万円
- 中川小学校 南舎西耐震改修(建築)工事
…宇佐美組、2億7510万円
- 南中学校 北舎耐震改修(建築)工事
…岐建、3億5490万円

所属委員会が決まりました

5月12日に開かれた臨時議会で、各議員の所属委員会が決定しました。私の所属は、
常任委員会：建設環境委員会



我が家の
つるバラ

特別委員会：子育て支援日本一対策委員会
その他 : 大垣市 営住宅入居者選考委員会
大垣市都市計画景観審議会
任期は1年間です。

国民平和大行進が来ます

5月30日、原水禁国民平和大行進実行委員会の羽澄氏は、大垣市役所を訪れ、市長及び議長に対して、出発集会でのあいさつや、今年2月15日から始まった新署名「核兵器全面禁止のアピール」への賛同署名などの申し入れをしました。

今年の平和大行進のコースと日程は以下。

6月15日(水)
15:50 三城公園に到着
16:00 三城公園出発
16:50 大垣公園城西広場到着

6月16日(木)
8:10 大垣公園城西広場にて出発集会
大垣市長のあいさつ(代理)
10:10 千羽鶴贈呈式(西濃食堂)
10:25 西濃食堂出発、垂井町へ



6月議会の日程

6月6日(月)	10:00	本会議・提案説明
6月13日(月)	10:00	本会議・一般質問
6月15日(水)	10:00	子育て支援日本一対策委員会
	13:00	市民病院に関する委員会
6月16日(木)	10:00	建設環境委員会
	13:00	経済産業委員会
6月17日(金)	10:00	文教厚生委員会
	13:00	企画総務委員会
6月20日(月)	10:00	本会議

環境都市大垣を推進するために

東日本大震災は、福島第1原子力発電所の重大事故をもたらしました。これにより、原発とは本当は「クリーン」どころかたいへん危険で、コストも高くつくエネルギー政策であったことが、国民の前に明らかにされました。これを受けて、脱原発、自然エネルギーへの方向転換が今、求められています。そして、今、最も危険といわれる中部電力の浜岡原発は運転中止となり、省エネとともに自然エネルギーへの転換は、中部地方で暮らす私たちの切実な問題になりました。

環境モデル都市・大垣

大垣市はH20年に「環境モデル都市」に応募し、「エネルギーの地産地消」を打ち出しました。大垣市は、太陽光、風力、小水力（小型の水力発電）、木質バイオマス（薪による火力発電）などが可能な自然に恵まれたまちですが、これらのエネルギー源をどれくらい活用しているかという点はまだ不十分です。その中で少し前進している施策を紹介します。

<住宅太陽光発電システムの普及、グリーン電力証書の活用>

太陽光発電による余剰電力分は、電力会社に売却（約40円/kwh）するとともに、自家消費電力の環境価値（グリーン電力）を、大垣市が20円/kwhで買い取ります（上限2000kwh/年）。

詳しくは、大垣市環境衛生課へ。81-4111 内線413

震災救援活動にご支援を

東日本大震災が起きて3か月になります。私の周りでもボランティアで被災地に出かけた人が何人かいます。荒崎のAさん、ボランティアグループの仲間と4トント

<地下水の活用>

青墓地区センターは太陽光発電とともに、地下水を利用した空調設備になっています。これにより35%の省エネルギー効果があるようです。

地下水ヒートポンプの可能性

地下水を使った空調といっても、直接地下水で建物を冷やしているわけではありません。「ヒートポンプ」という装置を使って、空気を冷やしているのです。ヒートポンプは、文字通り熱のポンプ。地下水を使ったヒートポンプでは、くみ上げた地下水を熱交換器に運び、地下水の冷たさを冷媒に移します。逆に冷媒から熱が地下水に移されるので、温くなった地下水はそのまま、地下に戻されます。冷えた冷媒は室内側の熱交換器で室内の温かい空気と触れて、冷媒の冷たさを空気に、空気の熱を冷媒に移して、室温を冷やします。

地下水ヒートポンプは地下水のくみ上げと、冷媒の循環、送風にかかる動力+αしか必要ないので、ランニングコストがかなり安く、消費電力・エネルギーも少なくなります。大垣市が有する膨大な量の地下水。未利用のまま眠っているこの資源を、どうにか有効に使えないでしょうか。



↑市内で唯一地下水ヒートポンプを導入している青墓地区センター

ラックにユンボを載せて現地に出かけました。それでも1軒の家の瓦礫を片付けるのが精いっぱいだったとのこと。このような作業が延々とあり、被災地の復旧、復興には膨大な時間と人手がかかることを実感。共産党も5月の連休明けからボランティアを募り、関ヶ原町会議員

本当に大丈夫？横曽根工業団地

5月27日、大垣市都市計画景観審議会が開催され、「横曽根工業団地」の「地区計画」について審議しました。横曽根工業用地整備事業については、経済委員会に報告され、委員の中からは「買ってくれる企業があるのか」と心配する声がありました。「地区計画」が承認され、農地転用許可が下りれば、土地開発公社が農地を取得し、造成することになります。

赤字で売って、企業は来ず

県内の他の自治体の事例を調べると、土地としては（開発会社に）売れたが、未だに企業が来ていない。ずっと空き地のままになっているので、自治体が借りて野球チームの練習場になっているところもあるとか。また、採算のとれる金額が15万円/坪のところ、それらの工業団地では10万円/坪で売り、赤字となっているといった例があります。

綿密な見通しと慎重な推進を 笹田トヨ子は保留にしました。

バブルが崩壊して「失われた20年」とも言われている今、人口の縮小、都市縮小、財政縮小の時代に、余程しっかりとした見通しや、「最悪のシナリオ」をも描きながら、リスクの回避を検討しつつ、慎重に取り組む必要があるのではないのでしょうか。私は、工業団地を買い、実際に進出する企業の見通しがはっきりしない段階では、「地区計画」を承認するわけにはいかないと、採決では「保留」にしました。審議会全体では、賛成多数で「地区計画」は承認されています。

の田申さんも参加。2次、3次とボランティアを派遣することになっています。

トヨ子通信読者のみなさん、ボランティア募集のほか、救援基金や夏物の衣類（新品のTシャツなど）など、お寄せください。お願いします。